

新潟中越地震に関する緊急研究シンポジウムプログラム

日時：平成 17 年 5 月 13 日（金） 13：00-18：15

会場：長岡工業高専（新潟県長岡市西片貝町 888 番地）

13：00-13：10 開会の辞 長岡工業高専校長 高田孝次

テーマ 3：地下構造調査等による震源断層・強震動生成機構の解明 13：10-14：10

13：10-13：20 3-1 反射法地震探査（東大地震研・産総研）

13：20-13：30 3-2 電磁探査（東工大）

13：30-13：40 3-3 強震・微動探査（京大防災研）

13：40-13：50 3-4 地殻変動観測（国土地理院）

13：50-14：10 3-5 地下構造調査等による震源断層・強震動生成機構の解明の総括

<発表各 10 分 総括 20 分>

テーマ 2：地震時の土砂災害研究 14：10-15：55

14：10-14：25 2-1 発生土砂災害の実態把握とその地質、地形的特徴

（京大防災研・防災科研・新潟大・土木研・国土地理院）

14：25-14：40 2-2 斜面・人口盛土の地震動の推定及び選考降雨の影響

（森林総研・土木研）

14：40-15：05 2-3 地震時せん断特性の把握と運動範囲の解釈・予測

（京大防災研）

15：05-15：20 2-4 地震後に発生する二次的な土砂災害の発生予測手法の研究

（土木研）

15：20-15：35 2-5 リモートセンシングによる地下水分布、詳細地形計測

（農業工研・消防研）

15：35-15：55 2-6 総括：今後の巨大地震による土砂災害軽減対策立案への提言

（京大防災研）

<発表各 15 分 総括 20 分>

テーマ 1：地震災害調査 15：55-17：35

15：55-16：15 1-1 構造物被害調査（新潟大・建築研・長岡高専）

16：15-16：35 1-2 ライフライン・施設機能被害調査（国総研・防災科研）

16：35-16：55 1-3 社会の災害対応（京大防災研・防災科研・国総研）

16：55-17：15 1-4 防災関連機関の対応とその連携（東大・気象庁・消防研・防災科研）

17：15-17：35 1-5 地震災害調査の総括（防災科研）

<発表・総括各 20 分>

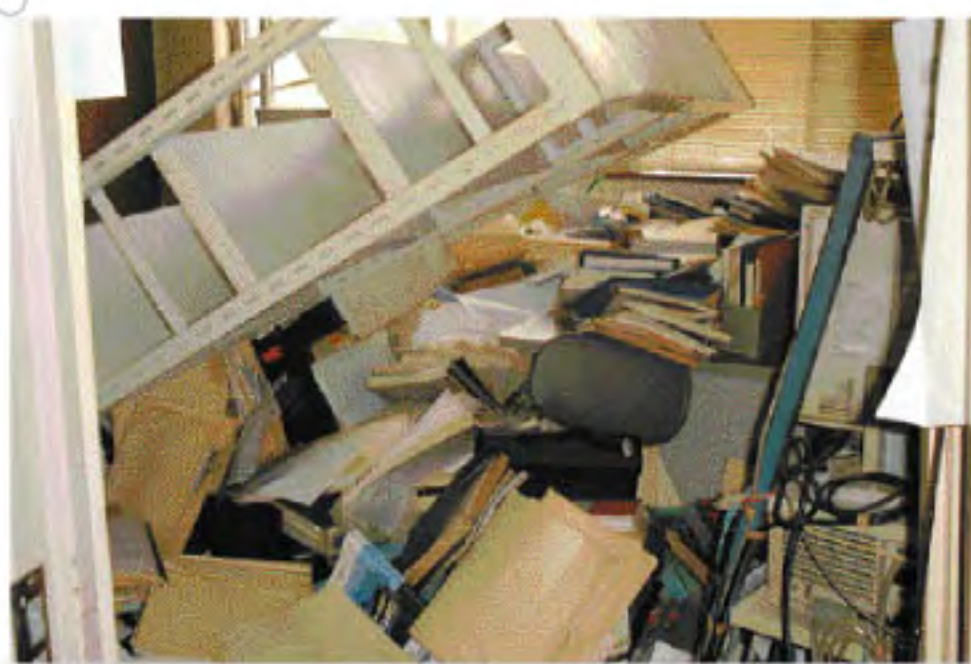
17：35-18：05 総合討論

18：05-18：15 閉会の辞



雪国 からの メッセージ

—新潟県中越地震から学ぶこと—



聴講者募集

日時 平成17年5月14日(土)
13:00~16:30 正午より受付開始いたします

会場 ホテルニューオータニ長岡 3F NCホール
新潟県長岡市台町2丁目8番35号 (JR長岡駅東口)

定員 400名 入場無料

参加方法

[ホームページからのお申し込み]
下記アドレスのシンポジウム参加登録画面よりお申し込みください。

<http://www.dprf.jp/>

[FAXによるお申し込み]

お名前、ご連絡先、当日の来場者数をお書き添えの上、下記の
問合せ先までご連絡ください。

※定員になり次第、応募を締め切らせていただきます。

お問い合わせ

開催事務局：独立行政法人 防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所
TEL.0258-35-7520 FAX.0258-35-0020 (担当：佐藤・佐竹)

■プログラムのご案内

- 講演1 「新潟県中越地震はなぜ起こったか」
東京大学 地震研究所 平田 直氏
- 講演2 「災害の状況 現場からの報告」
新潟大学 高濱 信行氏
- 講演3 「地震後を襲った豪雪との闘い」
長岡技術科学大学 上村 靖司氏

講演会 司会／佐藤 篤司 (防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所)

パネル ディスカッション

「新潟県中越地震から学ぶこと」

パネラー 大桃美代子氏 (タレント)
宗村 信明氏 (新潟県危機管理防災課 副参事)
関 広一氏 (小千谷市長)
千木良雅弘氏 (京都大学 防災研究所)
東原 紘道氏 (防災科学技術研究所)
尾上 篤生氏 (長岡工業高等専門学校)
コンビナー 山岡 耕春氏 (東京大学 地震研究所)



大桃美代子氏 プロフィール

新潟県出身 デビューのニュース番組をはじめ、料理、クイズ、バラエティ、情報と幅広い分野で司会として活躍。NHK「クイズ日本人の質問」に出演、大桃博士の愛称で親しまれる。NTV「ズームインSUPER!!」の司会を3年半務めた。好奇心旺盛な性格で、自然科学にも興味を持ち、将来は科学番組に携わりたいと考えている。今回の新潟県中越地震を帰省時に体験した。